

「友人と星を撮る (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢に友人(多摩地区の理科の先生)が泊まりに来たので、久しぶりに天体写真を撮りにいった。場所は火山博物館の手前、車で行ける場所では、浅間山の山頂に一番近い地点である。



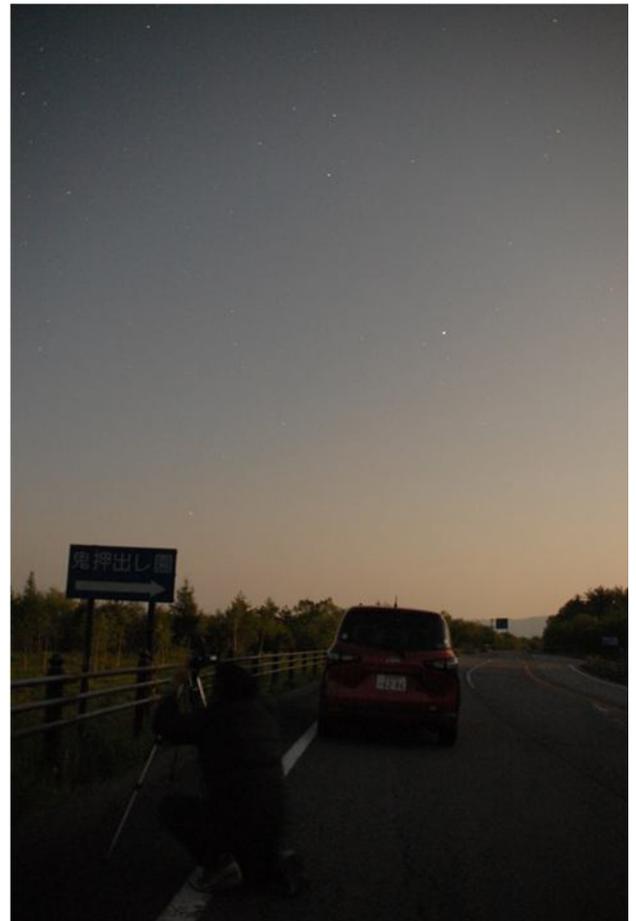
ここは、火山博物館の駐車場入口だが、夜間はまったく車が通らないので、絶好の天体写真撮影ポイントになる。浅間の火口壁に近いので、火山の写真の撮るにも絶好の場所だ。



上写真は、同じ地点から撮影した、活動期の浅間山である(2004年撮影)。夜間、山頂付近の噴煙が真っ赤に染まる、火映現象(かえいげんしょう)が見られる。これは、火口壁内のマグマの灼熱が、噴煙や雲に反映して見える現象である。浅間山の活動が活発で、この火映現象が見られる時期は、夜間この場所は、多くの撮影者で賑わう。



浅間山と反対側には、四阿山(あずまやさん)や本白根山が見える。日が長くなったので、まだ西側の空には、少し明るさが残っていた。



準備が整って、いよいよ撮影開始である。友人は天体写真に慣れていないので、まずは北斗七星の撮影に挑戦した。私もまずは北天を狙ってみた。(つづく)